

# 施工・取扱説明書

保証書付



イタリア Paffoni 社製

シャワー用複合ボックス・ハンドルセット

品番 3回路タイプ MDBOX019・MDE019××

2回路タイプ MDBOX018・MDE018××

××＝本体仕上カラー


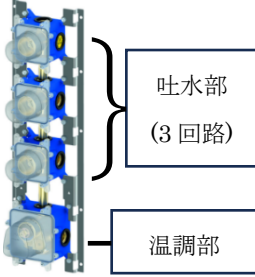

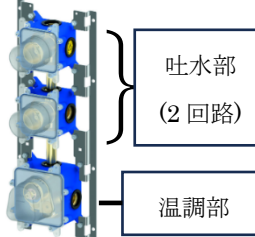
CR：クローム、NO：マットブラック、ST：サテン色

このたびは、当社の商品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。  
パフォーニ社はイタリアの伝統ある水栓金具の製造メーカーです。  
施工の前にこの説明書をよくお読みの上、正しく施工して下さい。

## 目次

- 商品形状
- 安全上のご注意
- 必ずお守りください
- 使用条件
- 取付前のご注意
- 本体の施工
- 操作部の施工
- 施工後の確認
- ご使用上の注意
- お手入れの方法
- 修理を依頼される前に
- アフターメンテナンスに関して
- 保証書

## ● 商品形状

| MDE019××  | MDBOX019  | MDE018××   | MEBOX108  |
|---|---|--|---|
|  |  <div style="position: absolute; top: 165px; left: 460px; border: 1px solid black; padding: 2px;">吐水部<br/>(3回路)</div> <div style="position: absolute; top: 235px; left: 460px; border: 1px solid black; padding: 2px;">温調部</div> |  |  <div style="position: absolute; top: 160px; left: 855px; border: 1px solid black; padding: 2px;">吐水部<br/>(2回路)</div> <div style="position: absolute; top: 225px; left: 855px; border: 1px solid black; padding: 2px;">温調部</div> |

## ● 安全上のご注意

配管工事はすべての建築基準法、水道法、各市町村の条例規定に準じておこなってください。  
水栓の取り付けには、水栓を取り付ける作業と配管工事（建設業：管工事業種）が必要です。配管工事に関する法令・規定に従って法的有資格者が実施しなければなりませんので、管工事業者へこの施工説明書を確実にお渡しいただき配管工事を依頼して下さい。






管工事業者（法的有資格者）に依頼する工事：

- ・ 給水／給湯の一次側配管との接続および検査

上記以外の作業は、管工事業者（法的有資格者）以外でも可能です。

- ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工前に、この「安全上の注意」を良くお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書兼取扱説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

## 記号の説明


|   |        |       |  |
|---|--------|-------|--|
|  | 注意     | 危険、注意 | この指示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。 |
|  | 禁止行為   |       | 該当する行為が禁止行為であることを示しています。                             |
|  | 指示（重要） |       | 該当する行為が記載されている指示に従って行われなければならないことを示しています。            |
|  | 接触禁止   |       | 該当する部品や部分に触れてはいけないことを示しています。                         |
|  | 分解禁止   |       | 該当する部品の分解が禁止行為であることを示しています。                          |


● 必ずお守りください

|  注意 | 危険、注意  | ご使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の事項を厳守し、指示には必ず従ってください。   |
|--|--------|---|
|     | 禁止行為   | 湯水を逆に配管しないで下さい。水を出す操作をして湯が出てヤケドをする恐れがあります。  |
|     | 禁止行為   | 屋外での使用はできません。   |
|     | 指示（重要） | 凍結が予想される場合は凍結予防処置を行ってください。<br>例）水栓内部の水を全て排出する。<br>水栓から少量の水を出し続ける。<br>水栓・配管を設置している場所の温度を氷点下以上に保つ。<br>凍結破損で漏水被害等を引き起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 |
|     | 接触禁止   | 高温吐水の際は、吐水口や高温水に直接触れないようにしてください。やけど、けがなどの恐れがあります。   |
|   | 指示（重要） | 高温吐水の後には、水栓内に高温水が残らないように、しばらく水を流してください。次に使用する際に水栓内に滞留した高温水が出てヤケドをする恐れがあります。   |
|   | 指示（重要） | 高温吐水の場合は必ず温調ハンドルを低温位置にし、その後ゆっくり高温側へ回し希望の吐水温度に調節してください。高温側から開栓すると高温水が出てヤケドをする恐れがあります。  |
|   | 指示（重要） | 他所の水栓との同時使用等により圧力変動が起こり、吐水温度が急上昇する恐れがあります。同時使用の際は吐水温度の変化に注意してください。ヤケドをする恐れがあります。  |
|   | 指示（重要） | 吐水時は希望の吐水温度になっているか必ず確認をする事で、快適に使用が出来ます。   |
|   | 指示（重要） | 吐水ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こす恐れがあります。ゆっくり操作してください。漏水による財産損害が発生の恐れがあります。  |
|   | 指示（重要） | 耐圧検査は、配管の接続を済ませ確認・手直しができる状態で行ってください。  |
|   | 分解禁止   | 修理技術者以外は絶対に分解・修理・改造は行わないでください。破損、やけど、けが、水漏れなどの損害発生のおそれがあります   |
|   | 指示（重要） | 定期的に、水漏れやがたつきがないか確認してください。製品に使われている部品の一部は、経年により劣化・摩耗するものがあります。  |

## ● 使用条件

- 給水は上水道に接続してください。 ※温泉水・井戸水等には使用できません。
- 給水・給湯は次の条件を守ってください。

|   |                |             |   |
|---|----------------|-------------|---|
| <br>水圧 | 最低圧力<br>(流動圧)  | 0.1MPa      | 水圧(流量)が低い場合は給湯器が着火しない場合があります。   |
|   | 最高圧力<br>(静水圧)  | 0.5MPa      | これより圧力が高い場合は市販の減圧弁等で0.2~0.3MPaに調整してください                                     |
|   | 推奨圧力<br>(流動圧)  | 0.20~0.3MPa | —   |
|   | 湯・水差圧<br>(静水圧) | 最大 0.05MPa  | 湯・水の圧力差が大きい状態(例:電気温水器等と組み合わせて使用する場合)で使用すると、圧力が弱い側が吐水されない、急に温度が切り替わる等があり危険です |

|  |      |        |   |
|--|------|--------|---|
| <br>温度 | 給水温度 | 5~25℃  | — |
|  | 給湯温度 | 55~65℃ | — |

## ● 取付前のご注意

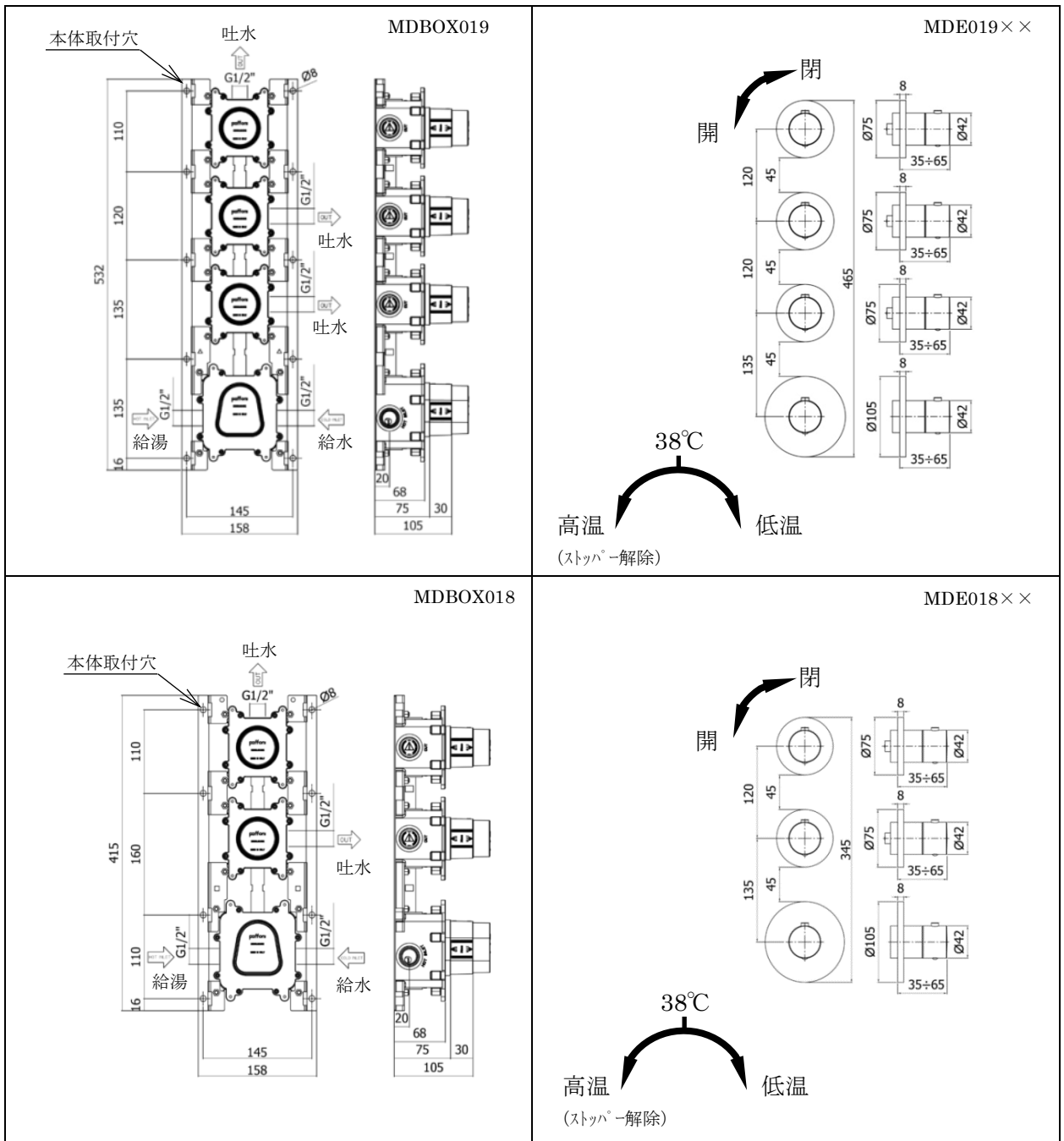
- 逆配管をしないでください。
- 取付後の点検やメンテナンス、緊急時の止水のために、必ず容易にアクセスができる止水栓・点検口を設けてください。施工作业や、施工後の漏水確認に点検口が必要です。
- 製品の取付前に、給水、給湯管のごみを、完全に洗い流してください。配管内にごみが詰まったまま、製品を取りつけますと、製品内部にごみが詰まり、吐水不良や、製品不具合を引き起こすことがあります。配管内の異物・ごみなどに起因する水栓の止水不良、吐水不良については、製品保証の対象外となります。

## ● 本体の施工

### 1. 配管内（給水・給湯）の清掃

製品の取付前に、必ず、配管内（給水・給湯）のごみ、砂などを完全に洗い出してください。  
配管内の異物・ごみなどに起因する水栓の止水不良、吐水不良については、製品保証の対象外となります。

### 2. 製品寸法

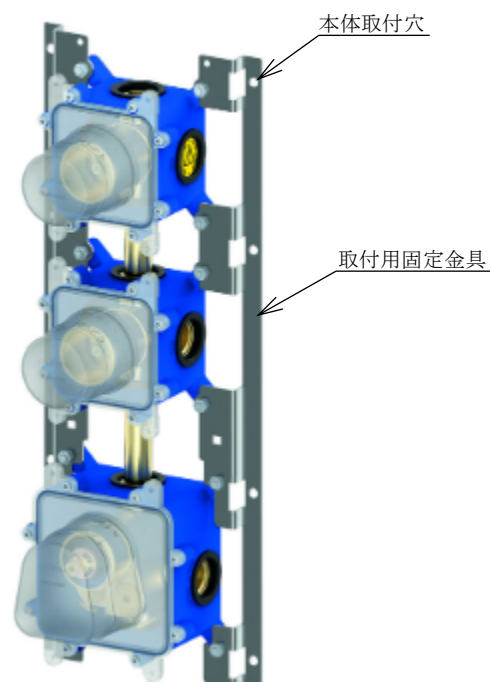


### 3. 本体の設置

- ・本体取付用固定金具の取付穴（φ8）に、ビスで当木等固定物に動かない様にしっかりと固定して下さい。

| 製品型式     | 取付穴数 |
|----------|------|
| MDBOX019 | 10   |
| MDBOX018 | 8    |

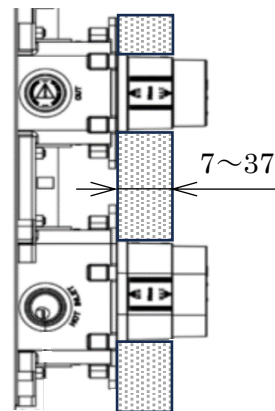
- ※本体は壁に埋め込まれるので、固定用のビスが緩まない様に緩み防止を行って下さい。



### 4. 本体埋込部の対応壁厚

- ・対応壁厚は、7mm～37mm の範囲です。
- ・仕上げ面から規定寸法内に収まる様に、本体の埋込位置を調整して下さい。

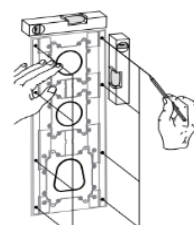
- ※本体固定の位置は壁材の厚みや奥行きを考慮し、壁の仕上げ面からの寸法が「対応壁厚内に収まるように設置」して下さい。  
この寸法範囲を逸脱した場合、化粧カバーががたついたりハンドル操作が重くなる等、正常な水栓の操作が出来なくなります。



### 5. 壁仕上げ面の開口

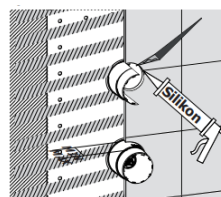
- ・同梱の開口用シートを用いて、吐水側及び温調側の穴を壁に開けて下さい。

- ※開口用シートは製品寸法に準じています。



### 6. カバーのカット

- ・仕上げ面に合わせ注意をし、吐水側及び温調側のカバーをカットして下さい。
- ・カット後、仕上げ面との箇所にコーキング剤を塗り、防水処理を行って下さい。



## ● 操作部の施工

### <吐水側>

#### 1.ホルダーの接続

- ・本体にしっかりと締付ます。

※工具をかける面がないので、緩みがない様手でしっかりと締付して下さい。

#### 2.調整軸の接続

- ・調整軸を止水弁の調整ネジに差込み、反時計方向に回して止水弁を開弁位置にします。
- ・調整軸を一旦外し、平面が垂直方向になる様に止水弁の調整ネジに差込みます。

#### 3.ビスの締付

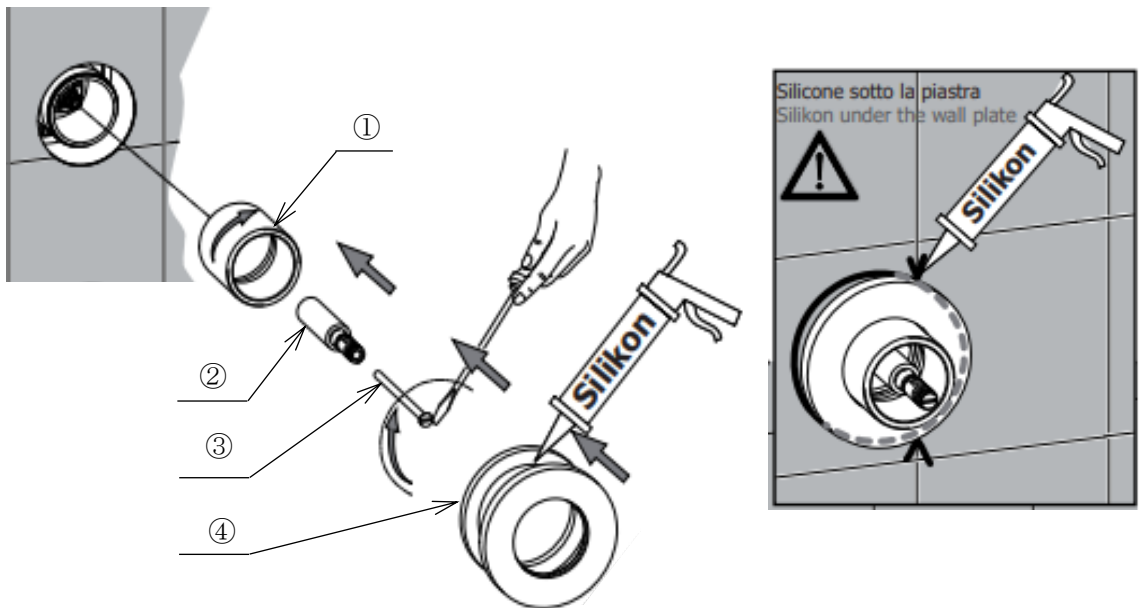
- ・+ドライバーで締付けます。

※締付の際は、調整軸の二面を7mmのスパナ等で固定して締付して下さい。

※締付が緩いとハンドルをセットした際、がたつきが出るのでしっかりと締付して下さい。

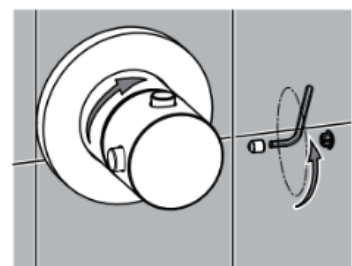
#### 4.化粧カバーの挿入

- ・発砲パッキンの片面にコーキング剤を塗り、化粧カバー裏面に貼り付けます。
- ・仕上げ面に当たる迄挿入します。
- ・仕上げ面との箇所にコーキング剤を塗り、防水処理を行って下さい。



#### 5.吐水ハンドルの接続

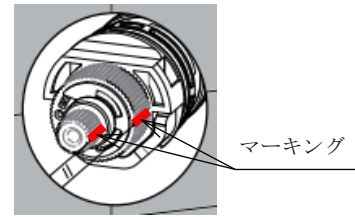
- ・スペーサーをホルダーにはめ込んだ後、調整軸の二面に六角穴付き止めねじが当たる様にハンドルを差し込みます。
- ・呼び2.5の六角棒レンチで緩みがない様に、六角穴付き止めねじをしっかりと締付ます。
- ・六角棒レンチ挿入穴にキャップをはめ込みます。



## <温調側>

### 1. 基準吐水温度(38℃)の調整

- ・カートリッジのマーキング溝に調整ネジのマーキングを合わせ、吐水温度の基準位置を出します。



### 2. 調整軸の接続

- ・平面が水平方向になる様に、調整軸をカートリッジの調整ネジに差込みます。

### 3. ビスの締付

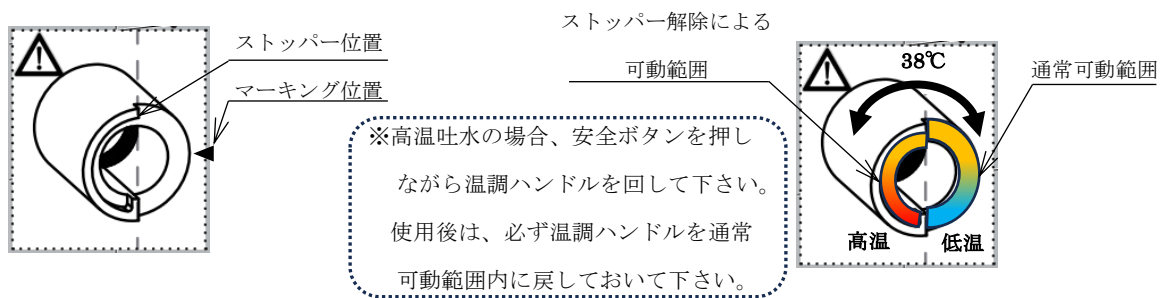
- ・呼び3の六角棒レンチで締付ます。

※締付の際は、調整軸の二面を7mmのスパナ等で固定して締付て下さい。

※締付が緩いとハンドルをセットした際、がたつきが出るので、しっかりと締付て下さい。

### 4. 制御ホルダーの挿入

- ・通常可動範囲のストッパー位置がマーキングと直角になる様に、制御ホルダーをカートリッジに奥迄しっかりと挿入します。



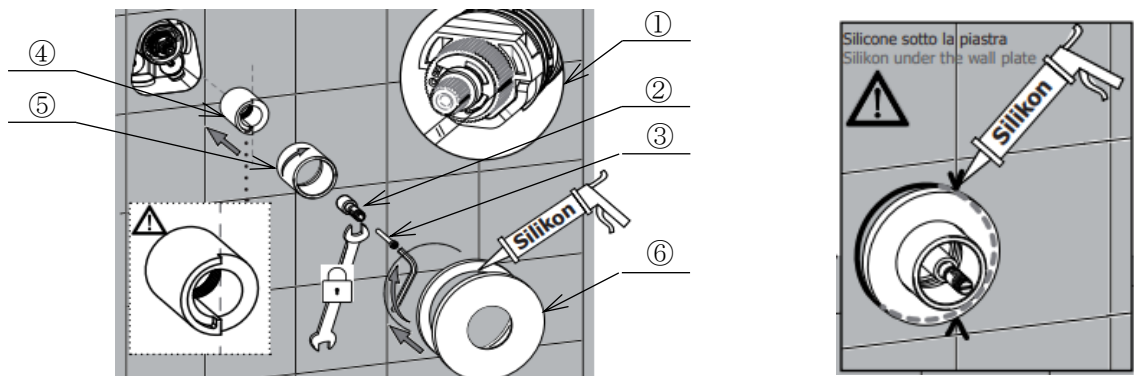
### 5. ホルダーの接続

- ・本体にしっかりと締付ます。

※工具をかける面がないので、緩みがない様手でしっかりと締付て下さい。

### 6. 化粧カバーの挿入

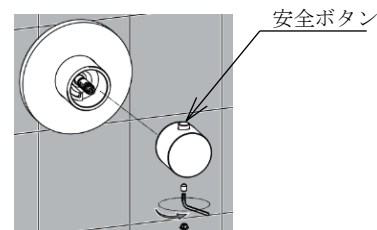
- ・発砲パッキンの片面にコーキング剤を塗り、化粧カバー裏面に貼り付けます。
- ・仕上げ面に当たる迄挿入します。
- ・仕上げ面との箇所にコーキング剤を塗り、防水処理を行って下さい。





## 7. 温調ハンドルの接続

- ・ スペーサーをホルダーにはめ込んだ後、調整軸の二面に六角穴付き止めねじが当たる様にハンドルを差込みます。
- ・ 呼び 2.5 の六角棒レンチで緩みがない様に、六角穴付き止めねじを締付ます。
- ・ 六角棒レンチ挿入穴にキャップをはめ込みます。



施工動画

MDBOX019



MDE019



MDBOX018



MDE018



## ● 施工後の確認

- ・ 全ての施工完了後、ネジ接続部が確実に締め込まれていることを確認して下さい。
- ・ 壁の施工前に水漏れがないか、必ず再度確認をして下さい。
- ・ 温調ハンドルの左（高温）、中（38℃）、右（低温）各位置で吐水温度を確認して下さい。
- ・ 吐水ハンドルを全開にし、ゴミが出ないか確認して下さい。
- ・ 給水、給湯圧の調整。（止水栓の開度を調整し、給水、給湯の差圧を小さくして下さい）

## ● ご使用上の注意

### ➤ ガス・電気給湯器と組み合わせてご使用の場合

吐水量が少ない時や給湯圧が低い時、水温が高い時は給湯器が着火しない場合があります。

※給湯器に関する内容は弊社では対応できませんのでご了承下さい

### ➤ 吐水ハンドル操作

吐水ハンドルはゆっくりと動かして下さい。

※急激な操作をすると配管内で水撃音が出たり、漏水する可能性があります。

|  |        |   |
|--|--------|---|
|  | 指示（重要） | 定期的に水漏れやがたつきがないか確認をして下さい。<br>製品に使われている部品の一部は、経年により劣化、<br>摩耗するものがあります。 |
|--|--------|---|

## ● お手入れの方法

損傷や、器具の不具合を防ぐため、お手入れにあたっては、次の点にご注意下さい。

不適切な取扱いによって発生した損傷は、製品保証の対象にはなりません。

### ➤ 汚れた場合は

※ 酸性洗剤、塩素漂白剤を含有する洗剤は表面処理を侵しますので、絶対に使用しないで下さい。

※ 水栓の表面を傷つけるようなものは絶対に使用しないで下さい。


例：クレンザーや磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤・ナイロンたわし、たわし、ブラシなど・研磨剤、スポンジパッド、マイクロファイバー布、化学スポンジなど研磨を目的とした洗剤や用具

※ スプレー洗剤を使用する場合、洗剤溶液を直接水栓に噴きつけず、やわらかい布やスポンジなどに噴きつけて使用して下さい。

※ 洗剤を使ってお手入れをした後は十分に洗い流し、水栓に付着している洗剤を残らず取り除いて下さい。

## ●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合があります。下記項目をご確認下さい。

|   |      |   |
|---|------|---|
|  | 分解禁止 | 決められた項目以外は、分解、改造しないでください。破損し、やけど、けが、水漏れなどの損害発生の恐れがあります。 |
|---|------|---|

| 内容                   | ここをお調べください  | 処置   |
|----------------------|---|--|
| 吐水量が少ない              | 1、止水栓は十分に開いていますか<br>2、圧力が不足していませんか                    | 1、止水栓を開き、流量の調整をして下さい<br>2、給水、給湯圧を推奨圧力内に調整して下さい   |
| 低温吐水                 | 1、湯側の止水栓は開いていますか<br>2、給湯器のスイッチは入っていますか<br>3、水の圧力が強すぎる | 1、止水栓を開き、流量の調整をして下さい<br>2、給湯器の温度設定を確認し、十分な湯量、湯温を確保して下さい<br>3、湯、水の流量が同じになる様に止水栓を調整して下さい |
| 水の量が多すぎる<br>使用時に音がする | 水の圧力が強すぎる   | 水側の止水栓を締め、水の量を少なくする  |
| 高温吐水                 | 1、水側の止水栓は開いていますか<br>2、湯の圧力が強すぎる                       | 1、止水栓を開き、流量の調整をしてください<br>2、湯、水の流量が同じになる様に止水栓を調整して下さい                                   |
| 完全に止水<br>できない        | 1、止水位置になっていない<br>2、本体内部に内蔵されている止水弁が<br>損傷している         | 1、吐水ハンドルを止水位置に合わせる<br>2、販売会社、施工業者、弊社へメンテナンスを依頼し、止水弁の交換を行って下さい                          |
| 温度調節が上手<br>くできない     | 湯側、水側の止水栓の調整がされていない                                   | 湯水の差圧を少なくなる様に、止水栓を調整して下さい  |
|                      | 十分な湯が供給されていない   | 給湯器の温度設定を確認し、十分な湯量、湯温を確保して下さい  |
|                      | 温調ハンドルが緩い   | キャップを外し、六角穴付き止めねじを増し締めして下さい  |
| 吐水温度が上が<br>らない       | 1、湯の供給量が少ない<br>2、本体内部に内蔵されているカートリッ<br>ジが損傷している        | 1、湯側の止水栓の調整をして下さい<br>2、販売会社、施工業者、弊社へメンテナンスを依頼し、カートリッジの交換を行って下さい                        |
| 吐水温度が下が<br>らない       | 1、水の供給量が少ない<br>2、本体内部に内蔵されているカートリッ<br>ジが損傷している        | 1、水側の止水栓の調整をして下さい<br>2、販売会社、施工業者、弊社へメンテナンスを依頼し、カートリッジの交換を行って下さい                        |

上記の処置で故障が直らない場合は、販売店、施工店、弊社へご連絡ください。

上記処置以外の分解、修理、改造は行わないでください。

## ● アフターメンテナンスに関して

### ➤ 保証書と保証期間

この取扱説明書には保証書が付いています。保証期間は施工後2年以内です。

### ➤ 修理を依頼される時

お求めの販売店、施工業者、弊社へご連絡ください。

#### 《連絡していただきたい内容》

- 1、住所・お名前・お電話番号
- 2、品名、品番（表紙を参照）
- 3、ご購入日
- 4、異常発生箇所（各部の名称を参照）、症状

#### 《保証期間中は》

修理時に保証書をご提示ください。保証書の規定に従い修理させていただきます。

#### 《保証期間が過ぎている場合は》

修理すればご使用できる商品に関しては、ご希望により有償で修理させていただきます。

#### 《料金》

メンテナンス出張料＋メンテナンス技術料＋部品代金で構成されます

## 保証書

本保証書は、その記載内容にしたがって無償修理を保証されています。下記保証書期間内に故障した場合は取扱工事店又は弊社へご連絡の上、訪問したサービス員に本保証書をご提示下さい。尚、取付日・お客様名・取扱店の記入が無い場合無効となります。

品名 品番 : MDBOX019・MDE019XX MDBOX018・MDE018XX XX=本体カラー CR:クローム NO:マットブラック ST:サテン色

使用開始日 :

お名前 :

ご住所 :

お電話番号 :

取扱店名 :

### 保証内容

- 1、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態において発生した、製造上・品質上の原因による故障や損傷については、使用開始日より2年間の無償修理を致します。
- 2、保証期間内に故障した場合は、お買い上げの代理店又は弊社までご連絡下さい。
- 3、サービス員が訪問いたしました際は本証書をご提示ください。  
ご示の無い場合は有償修理とさせていただきます。
- 4、次の場合は保証期間内であっても有償修理となります。
  - 1) 誤ったご使用方法による故障や損傷。
  - 2) 不当な修理や改造による故障や損傷。
  - 3) ゴミや異物等による品質上の原因以外の止水不良。
  - 4) 天災、災害、地変等による故障。
  - 5) 取付後の移動、又は輸送によって生じた故障、傷。
  - 6) 凍結による損傷。
- 5、本保証書は水栓本体に限ります。
- 6、本保証書は日本国内に限ります。
- 7、本保証書は再発行いたしませんので大切に保管ください。

保障期間後の修理は取扱説明書をご覧のうえ、取扱工事店、又は弊社へご連絡ください。



株式会社エスユー技研

東京営業部

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-1-3 和光ビル 1F

TEL : 03-5825-3761 FAX : 03-5825-3762

(平日 9:00~17:30 土・日・祝 休み)